

# LOST CHILDREN



FOR  
ADULT  
ONLY





じわる  
じわる

小悪魔...

まだ...なの?  
はやく...して...

おんが

はあ

休憩時間...  
おわっちゃ...っ...

ずんずん

おんが

ごめん  
なさい  
咲夜さん

もうすこひで  
まんぞく  
ひまふから

ずんずん

おんが



お屋からも  
お仕事  
がんばりましょうね♥

はっ

はっ

それじゃあ  
咲夜さん  
また今夜♥  
パンツは  
間食用に  
買っていくますね

あっ確かに  
もう休憩時間  
終わっちゃいますね

ごちそうさま  
でした  
おかげで  
楽になりました

最後に…  
イキ汁…

飲ませて  
くらさい…

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ゴキウゴキウ



# LOST CHILDREN





私 小悪魔は  
50年に一度の  
発情期を迎え

人間の精を  
摂取しなければ  
ならない状態に陥り

他の人間を  
襲えばいい  
ものの

恋慕の情を  
抑えることが  
できず

私の主人の  
友人のメイドであり  
私の友人でもある

十六夜咲夜さんに  
催眠をかけ……  
夜這いをし続けて  
いました

数か月に  
及ぶ幸せな  
時間でしたが

今日も  
来ちゃいました  
咲夜さん♥

今夜もぐっすり  
寝てくれて  
ますねえ♥

……貴女  
だったのね

小悪魔

私は夢のような時間を……  
咲夜さんは夢の中で

今夜もたっぷり  
楽しみましょ♥

終わりは  
突然にやってきました

貴女：何をしにきたの？

私の発情期はその時ピークを迎えていました

日に日に強くなっていく性的衝動

吸っても吸っても満ち足りず

夜這いの時間は長くなってついに先日：朝日が昇る直前まで

彼女の精を貪るのに熱中してしまったことよって

私は催眠と忘却の暗示をかけ忘れてしまったのです

何をしているの？

貴女：私の身体に…

私は事の顛末を正直に話し：誠心誠意謝りました

何をしたの？

発情期で盛り切ったふやけた頭ではありましたが

彼女の殺意はそれを醒めさせるほど刺さるように感じられましたし

都合のいい話ではありますが好きなヒトに嫌われてしまうのがイヤで…

許しました乞いました

必死だったのでなんと言ったか詳しく覚えてはいませんが

許してください！嫌いにならないでくださいっ！

といたただけは覚えています









それに何よりその...

胸やおしりが... 数か月でこんなに大きくなっちゃうんだもの...

下着のサイズ変わっちゃって大変だったんだから

たがん

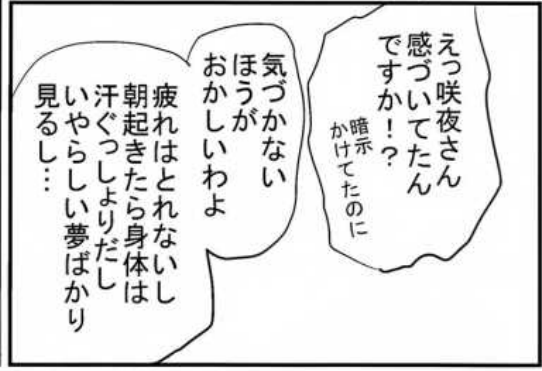
※淫魔の唾液の副作用によるものです



成程ね わかったわ

しかし何かされてるとは思ってたけど

こんなことになっただとはね

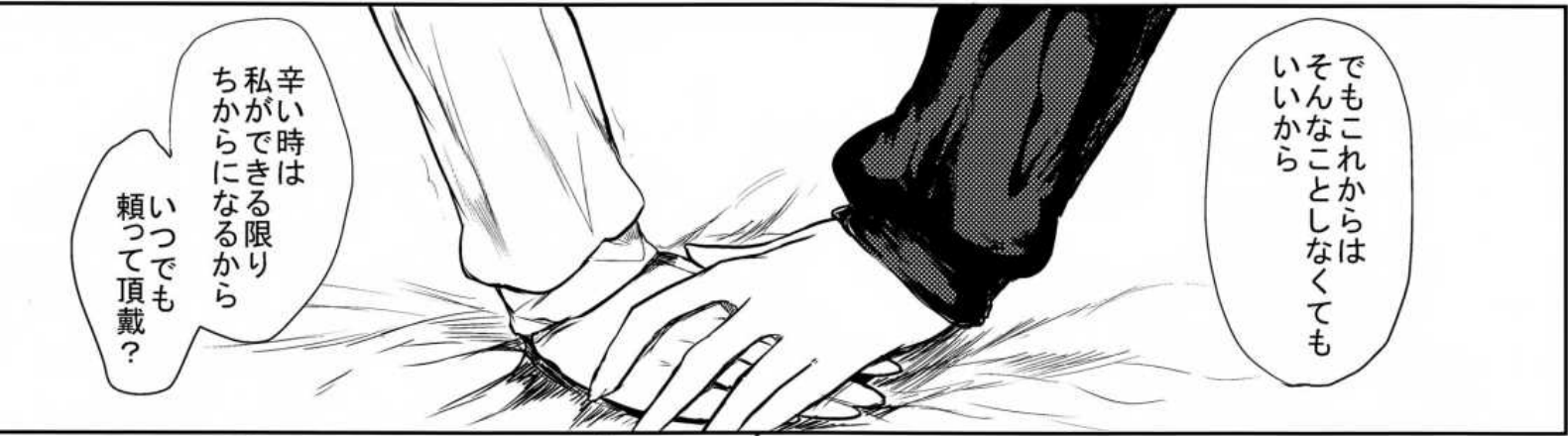


えっ咲夜さん 感づいてたんですか!?

暗示かけてたのに

気づかない ほうがおかしいわよ

疲れはとれないし 朝起きたら身体は汗ぐつしよりだし いやらしい夢ばかり 見るし...



でもこれからは そんなことしなくても いいから

辛い時は 私ができる限り ちからになるから いつでも 頼って頂戴?

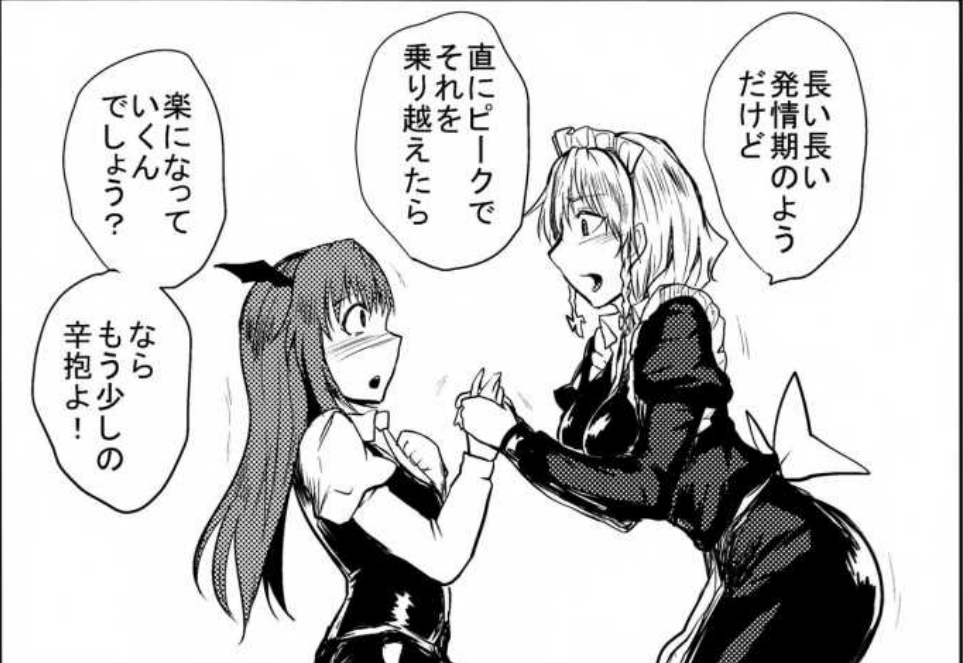


私の夢のようで 幸せだけど 虚しかった 時間は

一緒に 乗り越え ましょう

その日 終わりを 迎えました

ねっ



長い長い 発情期のよう だけど

直にピークで それを 乗り越えたら

楽になって いくんでしょう?

なら もう少しの 辛抱よ!





彼女は恥ずかしがりながらも私のお願いをなんでも聞いてくれました。

夜這いしていた時に催眠でやらせていたことと同じ！そしてそれ以上のことを

私の発情期がピークに近づくにつれ私の要求はどんどんいきましましたが

彼女は一生懸命応えてくれました。

そして夢のようだけど夢じゃない！

本当に幸せな時間が始まりました





私たちは時間があれば  
その都度求めあつて  
身体を重ねました

その様子は  
自分で言うのも  
なんですが

キスと挿入を  
していないだけの  
恋人同士のまうに  
思えました



そして  
その最後の  
一線を超える日は

ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ

私の発情期の  
ピークとともに  
やってきました

もお  
咲夜さん  
つたら  
お昼に私に  
パンツ  
くれた後

もしかして  
ノーパンで  
ストッキング履いて  
仕事してたんですか？



もう  
なかったんだもんっ

パンツ...  
かえしてよあつ

らってえ...  
あなたが...  
私のパンツ...  
ぜんぶ  
もってっちゃった  
からあ...





もう…っ  
変態的なこと  
言っていないで  
早く  
済ませてようっ…っ



ごめんなさい  
咲夜さんのパンツ  
どれも美味しくて  
でもやっぱり  
パンツの中が  
一番美味しい  
ですっ…っ



ちゅぽ  
ちゅぽ  
……



ねえ…  
咲夜さん…

私のこと…  
好きですか…？



私の発情期は  
今ピークが  
来ちゃってます

もうこの精の  
摂取では満足  
いかなくなって  
ます…

触って  
みてください…  
わかりますか…

私のこの男性器が…  
女性器の奥に入って  
言っているのを…



えっ…  
あの…

私たちの  
この関係は  
私の発情期を  
軽くしてくれる  
ことだというのは  
わかってます…

でも…  
なんでここまで  
してくるんですか？  
恋人のような…  
恋人以上のことを…



私もし今日はこれだけで済ませたくないと言ったら...

私が「ここ」におちんちんを挿入したいと言ったら...

貴女はそれを受け入れてくれますか？

貴女は処女を私に捧げてくれますか？

私は貴女の奉仕の慈愛ではなく

貴女の本当の愛でそれを捧げてほしい

もし私のことを好きなら...好きと言ってください...

あ...あ...

キゅ...



貴女のこと好きよ...

好き...こんな形になっちゃったけれど...

貴女になら...私の初めて...もらってほしい...

咲夜さん...!



そして私たちは  
初めてのキスを  
しました！



彼女と私は  
初めての

私と彼女は  
何百回目の



あっあっ...  
あっあっあっ...  
あっあっあっ...



最初は痛い  
と思いますけど...

うん...

淫魔の唾液で膣内を  
何回も舐めてますから  
痛みはだいぶ  
少ないと思います...

できるだけ痛く  
ないようゆつくり  
動きますから

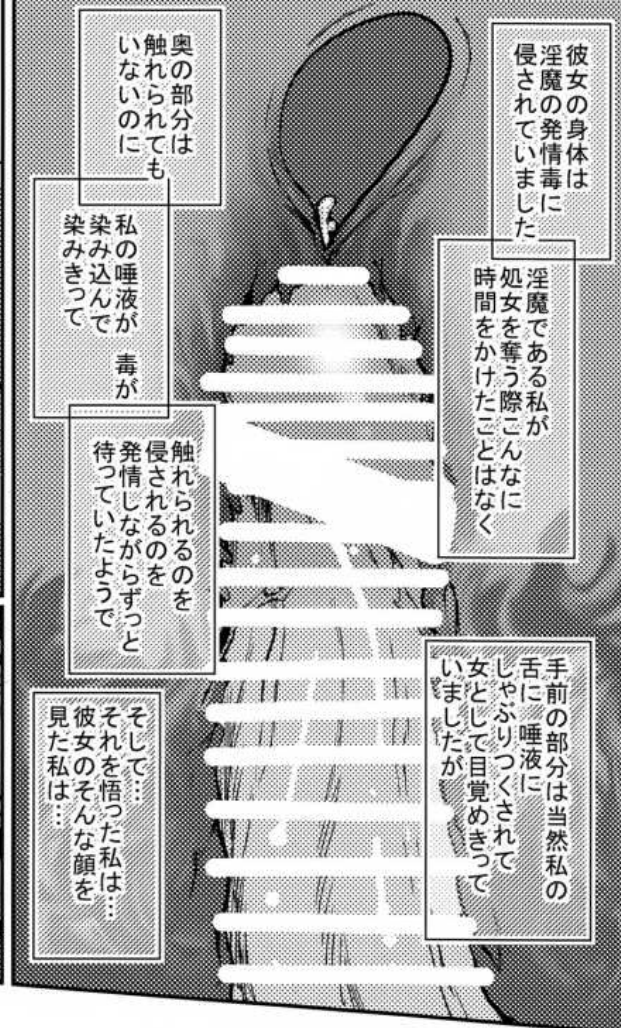
うん...



じゃあいきますよ...  
力抜いてくださいね...







違うの…  
痛くないの…

彼女の身体は  
淫魔の発情毒に  
侵されてしまった

淫魔である私が  
処女を奪う際こんな  
時間をかけたことはなく

手前の部分は当然私の  
舌に唾液に  
しやぶりつくされて  
女として目覚めきって  
いましたが

奥の部分は  
触れられても  
いないのに

私の唾液が  
染み込んで  
毒が

触れられるのを  
侵されるのを  
発情しながらずっと  
待っていたようで

そして…  
それを悟った私は…  
彼女のそんな顔を  
見た私は…

恥ずかしいの…  
こんなに…  
キモチいいなんて…  
膜を破られる  
痛みも…

初めて触れられた  
はずのところも…

なぜだか…  
キモチよくて…  
はしたなくて…

ああっ!!  
まってまって  
まってっ!!

やあああっ!!  
ゆっくりして  
くれるってっ…!!

アッアッアッアッ

アッアッアッ

もう…  
我慢する  
必要も  
なさそうですし…

それにもう…  
我慢できません…

半年近く…  
この瞬間を  
焦がれてたの  
ですからっ…!!













もうわ  
いうわ

止めて  
頂戴

カッム



成程：  
あの子の血が  
突然マズくなったのは

こうい  
うことね

すっかりした子だから  
早々ないと思っていたけど  
まさかこんな短慮に  
処女を散らすとは



咲夜の振舞いは  
軽率では  
ないわよレミイ

彼女 半年近く  
夜中 小悪魔の  
催眠にかかって  
いたんでしょ

日常的に  
暗示催眠に  
掛かりやすく  
なっていたのよ

嫌いにならないで  
助けて許して  
好きと言って  
セックスさせて

彼女は  
常に深層意識に  
命令を  
受けていた  
ってところかしら

まど勿論  
小悪魔に抱いていた  
友達以上の恋火未満の  
感情ありきたり







おはよう  
ございます

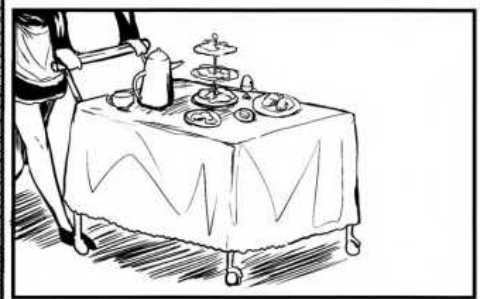
そしてお初に  
お目にかかります

小悪魔と申します

失礼ながら主以外に  
真明は明かせませんが

先任が粗相をして  
処分されたとかで新しく  
パチユリ！ノーレッジの  
世話役として呼ばれました

以後よろしく  
お願いします



あつ…  
小悪魔…

おつ…  
おはようっ



なんというか…  
次の日の朝と  
いうのはその…

こうも  
気恥ずかしい  
ものなのね…

奥付

発行/凸傘

発行者/サガツとる

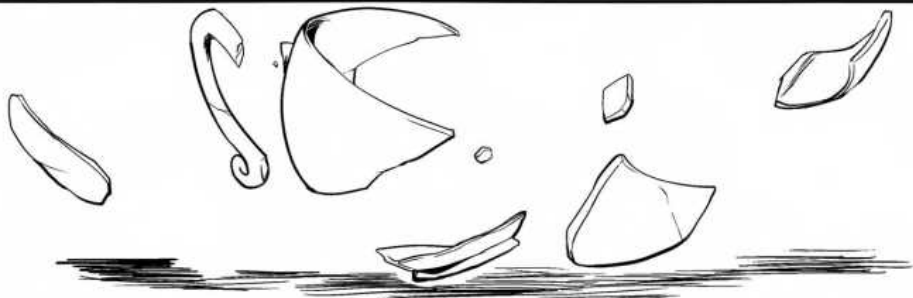
<http://www.pixiv.net/member.php?id=1263210>

発行日/2013年12月30日

コミックマーケット85

印刷/ねこのしっぽ様

<http://www.shippo.co.jp/neko/>







TOHO PROJECT FAN BOOK  
PRESENTED BY 凸傘